

事業所通信



〒520-0113 大津市坂本6丁目25-30 TEL: 077-579-7121

<http://shigamin.jp/sakamoto/>

「新型コロナウイルス感染症の対応と感染予防」

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の広がりには日本を含め世界中を震撼させています。感染拡大を防ぎ、一刻も早く終息に向かわせるために、感染が疑われるときの対応と感染予防についてまとめました。

＜新型コロナウイルス感染症の特徴＞

- 約8割の人は罹患しても軽い症状で治るが、高齢者・基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、透析・抗がん剤治療中など）のある人は重症化するリスクが高い。
- 発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える人が多い。
- 感染経路は、感染者のせきやくしゃみなどの飛沫による「飛沫感染」、ウイルスに触れた手で口や鼻を触る「接触感染」であり、空気感染は起きていないと考えられるが、閉鎖空間にて近距離で多くの人と会話するなどの場合はせきやくしゃみなどがなくても感染拡大のリスクがある。
- 感染から発症までの潜伏期間は約5日（1～12.5日）で、多くの感染者は周囲に感染させていないといわれている。無症状感染者から感染するかは、まだはっきりしていない。

厚生労働省コロナウイルス対策 HP

<http://urx.space/i/1NW>

＜かぜ症状が出たときはどうする？＞

1) 症状が軽いときはすぐに医療機関へ受診せず、自宅で安静にする

初期段階では新型コロナか、インフルエンザか、かぜか鑑別できません。かぜ症状が軽ければ外出や出勤を避け、自宅で安静にしながら睡眠をよくとり、体温を朝夕の2回測定・記録してください。

2) 症状が継続、重い場合は各保健所の「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談して指示を仰ぐ

①かぜの症状や37.5度以上の熱が4日以上続く（高齢者や基礎疾患のある方、妊婦は2日以上）

②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

「帰国者・接触者相談センター（大津市保健所）」の電話番号

◆平日8時40分～20時まで：077-526-5411

◆平日夜間20時～翌8時40分、土日祝日24時間：

080-2409-1856

★必ず指示された医療機関（感染症専門外来または一般医療機関）へマスクをつけて受診してください。

＜感染予防と拡大させないために何が必要か＞

- 石けんやアルコール消毒液による手洗い（30秒以上かけ指の間や爪、指先、手首も）やうがいの徹底
- 人ごみの多い場所や屋内のお互いの距離が十分確保できない状況で一定時間を過ごすことを避ける。
- 37.5度以上の発熱やかぜ症状があれば仕事などを休み、自宅で安静にする。
- 正しいマスクの着用（鼻・口・あごを覆い、鼻とのすき間を押さえてふさぐ）を含む咳エチケットの徹底



Health care Set of illustrations



お知らせ

2020年4月より診療体制が大きく変わります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します（医師診療体制表は裏面）

●埜田まゆみ医師の水曜・木曜の午前診療と火曜夜診がなくなります。

●火曜の内科夜診は岩城秀出医師が診療します。

●胃内視鏡検査は終了します。ご希望の方は他院へ紹介します。